

NEWS

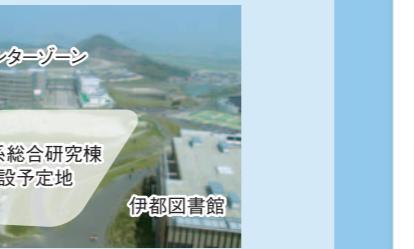
常設展示企画
シリーズ「箱崎キャンパスの近代建築」スタート

中央図書館ロビー常設展示コーナーで、4回に分けて箱崎キャンパスの近代建築物を紹介します。九州大学の百年の歴史を見守ってきた貴重な建築物。ふだん見慣れてはいても利用する機会が少なく、「謎の建物」が多いのではないでしょうか。このシリーズ展示では、九州大学大学文書館の協力により、同館に保管されている近代建築物の設計図面などを展示します。



伊都図書館周辺で工事が始まります(8月から)

伊都図書館向かいに建設される理学系総合研究棟(27年度開講予定)の工事が8月に開始される予定です。とくにセンターZーンから伊都図書館を利用される皆様にはご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いします。



試験期の開館時間延長

試験期間中、以下の図書館で開館時間を延長します。試験勉強に、レポート執筆に図書館をご活用ください。

【伊都図書館】	【中央図書館】	【芸術工学図書館】
7/18~8/7は平日夜10時まで開館	平日 8:00~22:00	7/28, 8/4は曜日開館
平日 9:00~22:00(通常21:00まで)	土日 8:30~21:00	7/27~28 10:00~20:00
土日祝日 10:00~18:00	土日祝日 10:00~17:00	8/3~4 9:00~20:00 (オープンキャンパスのため朝9時開館)

伊都図書館でも学習相談、はじめました。



2013年5月より、伊都図書館エントランスプラザに学習相談カウンターを設置し、サービスを開始しました。月曜～金曜の3・4・5限に係員7名が対応します。Cuterさんたちの専門はさまざま!気軽に相談に来てくださいね!

ニイハニチハ
Cuterです♪

一緒に解決
しませんか?
こんな悩み
お聞きください!
無線LAN (kitenetやedunet) がつながらない!
Macがなんだかおかしい...
読みたい本や論文がみつからない!
文献検索、もっとよい方法はないだろうか...
よいレポートってどう書いたらいいんだろう?
日本語でのレポートの書き方を知りたい!(留学生)
先輩たちの勉強方法を知りたい! などなど

	MON	TUE	WED	THU	FRI
3限	13:00~14:30		有馬 (制御工学)	上土井 (分析化学)	小谷 (数理)
4限	14:50~16:20	平原 (生体工学)	小谷 (数理)	佐々木 (認知科学)	長原 (理・地惑)
5限	16:40~18:10	平原 (生体工学)	月原 (防災工学)	月原 (防災工学)	佐々木 (認知科学)

新人Cuterを紹介します♪

上土井宏太 工学府 応用化学専攻 修士1年
【答えられること】
・英語 (TOEIC等の勉強法や英語レポートなど全般)
・ディベート(日本語でも英語でもOK)
・化学
・基礎的なパソコン操作
【一言】 雑談もOKなので、気軽に話しかけてください(^_^)
英語もいけるスマート男子

月原雅貴 工学府 建設システム工学専攻 博士2年
【答えられること】
・GIS
・パソコンの便利な使い方
・水理学
・地理情報科学
【一言】 まつりと 地理学の優秀エキスパート

小谷久寿 数理学府 数理学専攻 修士2年
【答えられること】
・力学
・微積分
・線形代数学
【一言】 よろしくおねがいします。
数学系ならまかしどき!

新しくなりました! 図書館ウェブサイト

2013年3月、九州大学附属図書館のウェブサイトが完全リニューアル!
シンプルな画面にして、みなさんの学習に役に立つツールにたくさんリンクしています。

九大図書館の資料を探すとき
CiNiiなどデータベースへのアクセスはこちら!
網羅的に探すとき
学外からアクセスするときは
ここをクリック!
九大にいるときと同じように
電子ジャーナルや電子ブックを
読むことができます。

この「学習」ページをブックマークして
おけば、シラバス、履修登録から学生
ポータルや英語学習システムまで、全て
がスムーズにアクセスできます!

図書館員のおしゃべりコラム

箱崎の中央図書館より、医学図書館に異動して1年が経過した。
この四月より、今までの相互利用(文献複写、相互貸借)の業務と併せて参考調査(レファレンス、講習会等)の業務も担当することになった。資料の借用のため研究室廻りをすることがあるが、今まで図書館内ばかりの業務だったため、新たな発見もある。病院の中を歩けば、患者さんはもちろんのこと医療に携わる方々の様子が伺える。また、研究棟を廻れば、普段メールでのやり取りしかなかった先生方や事務の方々ともお話しすることもできるし、研究室内の実験器具や設備なども見えて興味深い。

研究室の薬品の匂いで学生のころを思い出した。
化学実験でビペットを使い口で濃硫酸を吸って計量したりして、今思い出すと大層危険なことをやっていたものだ。
理系の学生さんはそのようなことはないと思うが、くれぐれも実験事故には気をつけていただきたいと思う。
医療関連は命を預かる重要な分野のため、緊急を要することも多い。そのため我々は日々複写物や図書の取り寄せにも速やかな対応を心掛けている。
皆さんのご要望やご意見も参考に今後もサービス向上を目指して精進していきたい所存である。
図書館が皆さんの学習、研究の一助になれば幸いである。

(医学図書館 A. K.)

きゅうとNEWSLETTER VOL.8 NO.2 2013.7



CONTENTS

- つなぐ「突撃!となりのホワイトボード」
- 資料紹介「九州大学文学部『人文学入門』シリーズ～多様なる世界への誘い～」
- 自著紹介
- NEWS
- こんにちは! Cuterです♪
- 新しくなりました! 図書館ウェブサイト
- 図書館員のおしゃべりコラム

つなぐ

突撃!となりのホワイトボード

中央図書館きゅうとコモンズ、伊都図書館オープンセミナー室、隈鳴天空広場、学部棟にある学生サロンetc. 学内には「みんなで集まれる場所」が増えています。
アツマル×ツナガルの先には何が…?
そこで、ホワイトボードをターゲットにして突撃取材をしてみました!

取材期間 5月22日~29日@中央図書館きゅうとコモンズ

5月22日
14:30

* 法学部4年

- (1)ゼミの事前学習の集まり
- (2)時効の権利について
- (3)勉強するとき、話し合っているときに使っています

5月27日
19:00* 経済学部3年
グループ名:チームよしたか

- (1)インターンシップ
- (2)インターンシップ作戦会議
- (3)自習・おしゃべり・作戦会議

5月29日
13:30* 理学部4年
グループ名:福岡ミートボウル部

- (1)6月1日のトークイベントに向けたミーティング
- (2)当日のコンテンツの確認
- (3)ミーティング

5月24日
12:30* 経済学府修士1年
グループ名:2/3

- (1)レポートの課題文献の理解を深めるためにディスカッション
- (2)ドラッカー「マネジメント」の中の「コミュニケーション」と「組織」についての内容
- (3)勉強、論文検索、参考書借りる。あとは…睡眠!→ここ大事!

5月29日
11:00

* 統合新領域学府修士1年

- (1)授業でのグループミーティング
- (2)コミュニケーションの会話分析
- (3)参考図書の貸出、演習室やパソコンの利用、課題をやる場所

グループ勉強中のみなさんに、
3つの質問に答えていただきました。

- (1)今日は何の集まりですか?
- (2)今日のホワイトボードの内容は?
- (3)普段どんなふうに図書館を使っていますか?

資料紹介

九州大学文学部『人文学入門』シリーズ ～多様なる世界への誘い～

九州大学文学部は、ほとんどの国立大学から教養部というものが姿を消した頃から、人文学の共通教育のあり方を問い合わせ、他大学とも連携してコア・カリキュラムの研究・開発に取り組んできました。幸い、平成21年度からは九州大学の「教育的向上支援プログラム(Enhanced Education Program:EEP)」の支援を得ることができます。文学部では現在、この4冊を用いて2年生向けの授業「人文学Ⅰ~Ⅳ」を行っています。

多様な分野に跨る人文学を語るには、いくつもの切り口が考えられます。ここではあえて領域横断的な編成を意識し、人文学の多様性と共通性を様々な角度から提示することを目指しました。全般に平易な文章を中心掛け、宗教や政治的信条からの中立性や日本・東洋・西洋等の諸文化のバランスにも配慮しました。執筆者一同、多くの若者がこのシリーズを手に取り、人文学への知的興味を持ってくれることを願っています。

人文学入門1『東アジア世界の交流と変容』

森平雅彦、岩崎義則、高山倫明編 (2011.4)

東アジア各地における社会と文化の成立立ちを、歴史学・考古学・地理学・文学・美術史・哲学史・言語学などの様々なトピックを通して多面的に解説する。キーワードは「交流と変容」。東アジア・南アジア・西アジアという地域の視点から、新旧の美術作品や墓といく真象物から、洋の東西の文学から、生死がどのように捉えられてきたのか、時空を超えて描き出す。序・結では、哲学・宗教学の視点から、問題を全体的に普遍的に捉え直す。生と死という時代のテーマを正面から見据えた九州大学文学部の教科書。

(朝鮮史学 森平 雅彦)

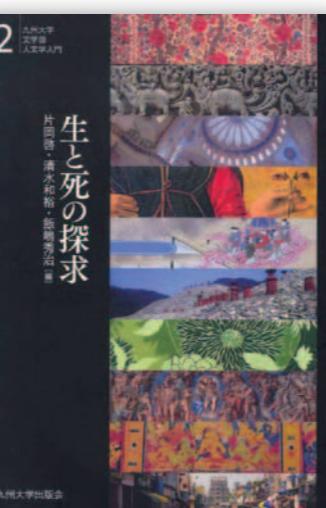


人文学入門2『生と死の探求』

片岡啓、清水和裕、飯島秀治編 (2013.2)

「生まれ、死ぬ」という普遍的な問題。文学部選りすぐりの先生が、多彩な視点で学生に説き明かす。2011年度に行われた授業を踏まえ、さらに内容を充実させて教科書として出版。東アジア・南アジア・西アジアという地域の視点から、新旧の美術作品や墓といく真象物から、洋の東西の文学から、生死がどのように捉えられてきたのか、時空を超えて描き出す。序・結では、哲学・宗教学の視点から、問題を全体的に普遍的に捉え直す。生と死という時代のテーマを正面から見据えた九州大学文学部の教科書。

(インド哲学史 片岡 啓)



人文学入門3『コミュニケーションと共同体』

光藤宏行編 (2012.3)

なぜ人は集まるのか、そしてその共同体が消えることがあるのはなぜか? 共同体が形成されるとき、コミュニケーションが行われる。本書では共同体とコミュニケーションの成立・維持・消滅について、人文学の視点から考察する。第I部では、コミュニケーションの柱の一つである言葉を取りあげる。第II部では、言葉によらないコミュニケーションと共同体に関わる話題について、哲学や心理学に基づく考察を行う。第III部では、比較的大規模な共同体を取りあげ、コミュニケーションと共同体に関わる実例と、その説明理論を俯瞰する。

(西洋史学 岡崎 敦)



人文学入門4『テクストの誘惑 フィロロジーの射程』

岡崎敦、岡野潔編 (2012.3)

情報やその意味をめぐって、人類は、太古の昔から多くの思索と経験を積み重ねてきた。なかでも、「人文学」と呼ばれる分野においては、とりわけ文字媒体に定着された情報の性格判定、読解、解釈について、たえざる省察が重ねられてきたのである。本書では、その一端を紹介しながら、知とテクストについて考える愉しみへと読者を誘う。書物や情報をめぐる大きな変容が進行中の現在、テクスト解釈の現場(第1部「テクストの誘惑」)や文献学の最先端(第2部「フィロロジーの射程」)について学べる理論と実践の書。

(西洋史学 岡崎 敦)



番外編

5月27日 11:00

月曜2限「教育情報工学」(山田政寛先生)の授業中。スクリーンとしても使えます。



5月23日 14:00

ときどき職員もミーティングなどで使っています。

※ 中央図書館ではプロジェクトの貸出もしています。
カウンターにお申し出ください。

~ このシリーズは九州大学のすべての図書館・図書室にあります。ぜひお手に取ってご覧ください ~

自著紹介

芸術工学研究院 教授 石村 真一

日本の曲木家具:その誕生から発展の系譜

石村真一著
鹿島出版会 2012

量産タイプの曲木家具の技法は、オーストラリアのネット社が1850年代に特許を取得し、今日見られる曲木家具製造の基礎を構築しました。1900年頃には日本でも曲木椅子が輸入されるようになりました。ビヤホール等で使用されます。明治後期から曲木家具の生産が本格化します。本書は、この国産化の軌跡と、資源である竹資源の推進を通じて、曲木家具をサステイナブルデザインという視点から論じたものです。忘れていた文献史料、全国各地でフィールド調査を実施して得られた資料を数多く掲載しました。ご笑いただければ幸いです。

[所蔵館:芸工]

言語文化研究院 准教授 鈴木 右文

『ケンブリッジ大学英語・学術研修への招待:名門校で学ぶ、暮らす、国際人になる』

鈴木右文著
九州大学出版会 2013

ケンブリッジ大学で3番目に古い1347年創立のペニプローカー・カレッジが運営する九大グループ専用の研修プログラムが1996年以来毎年実施されています。

9ヵ月の事前研修を組合せ、英語や英国の歴史文化を学び、人文・社会・自然のいずれかの専門科目を履修する。

本書は世話を務める筆者が、研修のすべてをまとめたものである。学生たちはノーベル賞受賞者を多数輩出する名門校のアカデミズムの一端に触れ、国際人として成長し、次のステップへ志を大きめていく。

世話を題と学生の感動の記録。

[所蔵館:全館]

人間環境学研究院 准教授 光藤 宏行

『学際研究:プロセスと理論』

アレン・F・レプロ著 光藤 宏行 他訳
九州大学出版会 2013

現代社会の課題に取り組むには、複数の専門分野による連携が必要だが、単なる寄せ集めではなく問題は解決できない。各分野の「知」を統合し、包括的な理解に至るにはどうすればよいのか。本書は学際性の定義と背景を踏まえ、実践的な学際研究のプロセスについて、具体例を挙げながら、分かりやすく解説する。

[所蔵館:中央/伊都]

医学研究院 講師 丸山 マサ美

『九州大学医学部標本・史料集:1997年調査』

研究代表者 丸山 マサ美
九州大学大学院医学研究院 2013

現在、馬出地区にある医学部キャンパスには、未整理の貴重史料が、存在する。

本書は、平成9(1997)年に調査された「医学部病理学標本・解剖・整形外器物史料(210点・明治期・大正期・昭和期)」内容を整理した史料集である。

平成17(2005)年、福岡県西方沖地震(マグニチュード7.0)に見舞われたが、本書には、破壊した標本・不保存の器物など、極めて貴重な史料が掲載されている。関連領域の史実を知る上での意味のある内容であり、関連領域のみならず今後、医史学研究を中心に、さらなる学際研究の発展に資する専門書である。

資料の性質上、医学部図書館「展示室」に保管されている。

[所蔵館:医学]

※一部を九州大学学術情報リポジトリで公開しています。

<https://qir.kyushu-u.ac.jp/dspace/handle/2324/26569>

図書館では、本学教員の著作を収集・提供とともに、交流協定校であるソウル대학교との資料交換をおこなっています。著書を上梓された際は、ぜひ図書館へご寄贈ください。

担当:附属図書館資料整備室 図書受入係

Tel:092-642-2327 Fax:092-642-2347

E-Mail: tosho1@lib.kyushu-u.ac.jp

芸術工学研究院 教授 河辺 哲次

『工科系のための解析力学』

河辺哲次著
裳華房 2012

この中の科学技術の発展はめざましく、さまざまな現象がコンピュータを使って数値的に解明されています。このとく、「現象の式化・モデル化」が必要になります。解析力学はそのための有力なアプローチであり、かつ、強力な解法ツールです。

解析力学はニュートンが築いた力学を基礎にしてつくられた力学理論で、2つの形式—グラフラント形式・ハミルトン形式—があります。そのおかげで、適用範囲は力学から相対論的力学、連続体力学、統計力学、電磁気学、場の理論におびひます。また、科学史的には、ハミルトンが量子力学に決定的な役割を果しました。

このように解析力学は理論・実用の両面において優れた力学です。

ですが、従来のテキストでは理論的側面に重きを置いたり、あるいは解法ツールとしての側面はほとんど強調されていませんでした。

本書の目的は、理工系の諸問題を扱いながら解法ツールとしての威力と魅力を伝えることです。解析力学はニュートン力学に比べて遙かに難い理論を扱うから、理解が難しいのです。しかし、それは多くの学生さんが実感することもあります。そんないないように、本書では難い理論をできる限り簡単に説明します。

解析力学の魅力と威力が分かれ、その修得に費やす苦労は十分に報われるはずです。拙著が、その苦労を無にせず、解析力学の真価を伝える優しいガイドになれば幸いです。

[所蔵館:中央/芸工]

『物理のためのベクトルとテンソル』

ダニエル・フライシユ [著] ; 河辺哲次 訳
岩波書店 2013

自然科学研究する数学用語として、ベクトルはとてもポピュラーですが、テンソルはあまり馴染みがないでしょう。しかし、テンソルは理工系の諸分野、例えば、力学、流体力学、材料力学、電磁気学、一般相対性理論、場の理論などを理解するためには必須の道具です。そして、テンソルの効用はベクトルを遥かに上回ります。従来のテキストでは難解を極めたテンソルの計算や諸概念をやさしく、深く、解説しています。どの時点で本書を手にされるかは、あなたの偶然です。でも、本書に目を通されれば、あなたをテンソルの正しい理解へ導くのは本書の必然でしょう。

[所蔵館:中央]

比較社会文化研究院 教授 東 英寿

『歐陽脩新発見書簡九十六篇:歐陽脩全集の研究』

東英寿著
研文出版 (山本書店出版部) 2013

歐陽脩は今から千年前に生れた中国の偉人です。そのため、歐陽脩の作品は出尽くしており、全く知らない人はいませんでした。私は、これまで全く知らないなかった歐陽脩の書簡96篇を発見して、日本中國学会で発表したこと。日本の新聞だけではなく、中国の国営通信・新華社による報道や人民日报等の多くの中国の新聞での発見の記事が出了ました。本書は、この新発見の歐陽脩書簡96篇について整理して公開し、その発見に至る経緯や考察等を掲載しています。

[所蔵館:伊都]

このほか、以下の著作をご寄贈いただきました。

芸術工学研究院 教授 佐藤 優

『屋外広告のテキスト』

佐藤優、中牟田麻弥著
九州大学大学院芸術工学研究院佐藤優研究室 2013